

第八十二日目

師 範：満州事変で「満州国」をうち立てて国際的な非難を浴びたにもかかわらず、日本は中国の中央部に進出しました。



北京郊外のロ溝橋事件を発端に、日中両軍が正面から戦うことになりました。

1937年 日中戦争が始まる。

この年を覚えておきましょう。

ペン太：国内では二・二六事件が起こった翌年。



「戦長引く日中戦争」

「いくさ」は193, 「な(がびく)」は7です。

「日中の 戦長引く 8年も」

師 範：日中全面戦争が始まったころから、アメリカやイギリスやソ連は蒋介石の国民政府に支援をし始めました。

一方、日本は戦闘用の物資や兵士の食糧などの補給が不十分なために、現地で買ったり奪ったりして間に合わせました。

中国の人々に反感を買い、戦う相手が増えていきました。

戦争は、結局8年間も続きました。満州事変から数えると日本は中国で15年も戦争をしていたことになります。

本当にいくさ長引くでした。

コン太：では



「盧溝橋の遠く見ながら日中戦争」

「とおく」は19, 「みな」37です。

師 範：よく表されていますよ。